

平成28年度  
東海市環境基本計画年次報告書

「未来につなぐ 美しいふるさと東海」  
の実現に向けて

平成29年11月  
東 海 市

# 目 次

## 1 市民、事業者、NPOと市の協働による計画推進

### 各部会の活動報告（平成28年度）

・ 社会環境部会 .....	1
・ 生活環境部会 .....	3
・ 廃棄物・リサイクル部会 .....	5

## 2 成果指標の評価について

(1) 成果指標一覧表 .....	7
-------------------	---

### (2) 成果指標評価表

#### 柱1 社会環境

・ 分野A 大気・ばいじん .....	8
・ 分野B 水質 .....	9
・ 分野C 騒音・振動 .....	11
・ 分野D 悪臭等 .....	12

#### 柱2 生活環境

・ 分野E 自然 .....	13
・ 分野F 公園・緑地・景観 .....	14
・ 分野G 環境美化 .....	15
・ 分野H 交通 .....	16

#### 柱3 廃棄物・リサイクル

・ 分野I リデュース・リユース .....	17
・ 分野J リサイクル・適正処理 .....	18

#### 柱4 共通基盤

・ 分野K 地球 .....	20
----------------	----

・ 分野L 環境学習・人づくり .....	21
-----------------------	----

### 3 参考資料

(1) 環境基本計画推進委員会委員名簿 .....	22
---------------------------	----

(2) 東海市環境基本計画について .....	23
-------------------------	----

- 1 市民、事業者、NPOと市の協働による計画推進  
各部会の活動報告

## 社会環境部会活動報告（平成28年度）

### 1 活動内容総括

平成19年度の環境基本計画スタート以来、当部会では「大気・ばいじん」をはじめ「水質」、「騒音・振動」、「悪臭」といった公害問題を中心に議論を進めてきました。河川・ため池水質浄化事業の一環として、年間約12,000本のペースで環境浄化微生物の配布を行っており、市民への配布や公共施設への活用を行ってきました。

### 2 河川・ため池水質浄化事業の主な活動内容

平成20年度から実施している河川・ため池水質浄化事業を継続し、環境浄化微生物の市民への無料配布や公共施設での使用により、河川等の水質浄化を目指しました。

- ① 市民への無料配布（781本/月）

**【配付場所】**

市役所1階北玄関・しあわせ村玄関・文化センター事務室入口前

※ 毎月1日・15日配布

- ② 公共施設での使用（219本/月）

**【使用公共施設】**

しあわせ村、清掃センター、文化センター、保育園（15園）、小学校（1校）、中学校（2校）、あすなろ学園、上野公民館、商工センター、勤労センター、市民体育館、温水プール、公園、運動公園、富木島公民館

### 3 平成28年度の取り組み内容

第2次東海市環境基本計画の内容について検討

平成28年7月1日 第1回社会環境部会

- ・計画の柱とビジョンについて
- ・新計画の検討における分担について
- ・各施策における実施事業について

平成28年7月25日 第2回社会環境部会

- ・各施策における実施事業について
- ・環境分野の分けについて

平成28年8月29日 第3回社会環境部会

- ・各施策における実施事業について
- ・指標案について

平成28年10月26日 第4回社会環境部会

- ・素案の内容について
- ・計画の推進体制について

### 4 今後について

平成29年度よりスタートする第2次東海市環境基本計画においては、今まで取り組んでいた「大気・ばいじん」、「水質」などの公害分野に継続して取り組みつつ、重点プロジェクトの「環境教育」などについても議論を行い、市民の環境行動につながるような情報交換の機会の提供など環境行政の推進に寄与していくことを目標とします。

## 生活環境部会活動報告（平成28年度）

### 1 部会での活動

平成28年度は、第2次東海市環境基本計画の内容の検討が主な議題で、推進委員会4回の開催に加え、生活環境課部会を4回開催しました。

#### 平成28年度生活環境部会の開催実績

日 程	会 議	内 容
平成28年 6 月 20日	第1回生活環境部会	<ul style="list-style-type: none"><li>・計画の柱とビジョンについて</li><li>・新計画の検討における分担について</li><li>・各施策における実施事業について</li></ul>
平成28年 7 月 20日	第2回生活環境部会	<ul style="list-style-type: none"><li>・各施策における実施事業について</li></ul>
平成28年 8 月 25日	第3回生活環境部会	<ul style="list-style-type: none"><li>・各施策における実施事業について</li><li>・指標案について</li></ul>
平成28年10月24日	第4回生活環境部会	<ul style="list-style-type: none"><li>・素案について</li><li>・計画の推進体制について</li></ul>

### 2 実施事業

東海市エコスクールは、同実行委員会が企画した事務局講座や他課が行う関連講座、一般からの応募で行う公募講座の3つから成り立っており、平成28年度は、22講座（1講座中止を除く）、1,139人の参加があり、平成27年度の1,094人と比べやや増加しました。

### 3 講座の様子



#### 「エコ・クッキング」

生活に身近な「料理」をテーマに、参加者で協力して調理をし、地球温暖化防止やごみの減量について考えました。例えば、無駄にならない火の調節、不要なチラシでゴミ箱を作る、チラシや新聞紙で洗う前に汚れを拭き取るといった工夫をしました。



#### 「自然工作～in 東海秋まつり」

どんぐりや枝などを用いて自由に工作します。参加者にも好評で、熱中するあまり1時間以上工作している子もいました。

### 4 今後について

平成29年度よりスタートする第2次東海市環境基本計画に沿って、重点プロジェクトである「環境教育」を推進していきます。「環境教育」は、これまで力を入れてきた東海市エコスクールに加えて、人材育成や担い手づくり、ネットワークづくりといったより広義な環境教育の推進に取り組んでいきます。

また、新たな環境分野「地球温暖化対策」や「緑・水・生き物」に基づき、省エネルギーの推進や生物多様性の保全などにも積極的に取り組みます。

廃棄物・リサイクル部会活動報告（平成28年度）

テーマ	目的	内容
環境教育	ごみの減量とリサイクル率向上のために、市民一人ひとりの意識を高めることが課題であるとして、環境教育活動の重点を置き、活動した。	<p>1 環境教育で市民に伝えたいこと</p> <p>(1) 3Rの意義</p> <p>(2) ごみと資源の分別方法</p> <p>(3) ごみ処理施設や最終処分の方法</p> <p>(4) どのようにリサイクルされているか</p> <p>2 実施内容</p> <p>(1) 清掃センター施設見学の受入れ</p> <p>ア とき 5～6月 11小学校</p> <p>イ 内容</p> <p>㍿ 清掃工場・リサイクルセンターの見学</p> <p>㍿ ごみと資源の出し方の説明</p> <p>㍿ 3Rの意義の説明</p> <p>(2) エコスクール</p> <p>ア エコって工作</p> <p>㍿ とき 8月20日（土）</p> <p>㍿ ところ 市民活動センター</p> <p>㍿ 内容 木の切れ端や牛乳パック等の廃材を使った工作の体験</p> <p>イ 親子ごみ分別教室</p> <p>㍿ とき 7月30日（土）</p> <p>㍿ ところ 市民活動センター</p> <p>㍿ 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3Rとは</li> <li>・買い物のコツ（エコな品物とは）</li> <li>・分別ゲーム</li> <li>・みんなで考えよう</li> </ul> <p>「私が今日からできるごみの減量」</p> <p>(3) リサイクルフェアの実施</p> <p>ア とき 5月27日（金）～29日（日）</p> <p>イ ところ 市役所地下大会議室 第1駐車場</p> <p>ウ 内容 リユース（再利用）の啓発</p> <p>㍿ ごみの中の宝物展</p> <p>㍿ フリーマーケットの実施</p> <p>(4) 東海秋まつり（消費者広場）に出展・参加</p> <p>ごみと資源の分別方法の展示</p>



- ア と き 11月5日(土)6日(日)
- イ ところ 勤労センター 多目的ホール
- (5) 広報・啓発・PRの実施
- ア 10月からスマートフォンアプリの導入



イ 知多メディアスでのごみのダイエットの情報提供  
3 部会での活動

(1) 活動記録(部会の開催)

第2次東海市環境基本計画策定に向けての協議

ア 第1回 平成28年6月29日

- ア) 部会での検討内容について
- イ) 計画の柱とビジョンについて
- ウ) 新計画の検討における分担について
- エ) 各施策において実施する事業について

イ 第2回 平成28年7月28日

- ア) 各施策において実施する事業について
- イ) 指標について

ウ 第3回 平成28年9月12日

- ア) 主な施策・事業について
- イ) 指標案について

(2) 今後の取り組み

ア 第2次東海市環境基本計画の進行管理

イ 第2次東海市環境基本計画の重点的な取り組みの実施と効果的な啓発方法の検討

ウ スマートフォンアプリの内容充実

2 成果指標の評価について

(1) 成果指標一覧表

柱	分野	成果指標		単位	基準値	現状値	H21	H22	H23	H23目標	H24	H25	H25目標	H26	H27	H28	H28目標		
		市内平均	降下ばいじんの量																
A	大気・ばいじん	①	降下ばいじんの量	t/km <sup>2</sup> ・年	4.4	4.6	4.2	3.8	3.8	3.8	3.9	4.2	3.5	3.8	3.5	3.9	3.5		
			北部平均	t/km <sup>2</sup> ・年	3.3	3.4	2.9	2.7	2.7	2.7	2.8	2.8	2.8	2.9	2.8	2.6	2.9	2.9	
			南部平均	t/km <sup>2</sup> ・年	5.4	5.9	5.6	4.9	4.9	4.8	4.9	4.9	5.6	4.1	4.9	4.3	5.0	4.1	
B	水質	②	大気汚染基準値の達成率	%	73	75	80	80	80	63	80	80	80	90	80	80	80	90	
		③	河川のBOD濃度(大田川大宮橋)	mg/l	14.4	11.7	2.9	4.4	4.4	2.8	2.8	2.7	2.0	5.0	2.5	2.0	1.7	2.7	
		④	きれいな川に生息している生物の種類数	種	6	13						10	7	25	7	8	8	8	25
		⑤	下水道普及率	%	43.8	52.3	65.5	68.4	68.4	70.2	70.2	72.3	74.3	67.5	75.6	76.3	77.8	80.0	80.0
C	騒音・振動	⑥	環境騒音基準値の適合率	%		67	75	67	67	67	67	67	67	70	80	75	85		
		⑦	自動車交通騒音基準値の適合率	%		100	100	100	100	100	100	80	100	100	100	90	87.5	100	
D	悪臭等	⑧	悪臭の公害苦情件数	件		20	16	12	11	11	14	10	10	10	7	9	10		
		⑨	緑などの自然環境などに満足している市民の割合	%	48.0	49.9	53.7	54.1	54.1	56.2	56.2	56.5	60.0	60	64.9	67.1	66.9	65.0	
E	自然	⑩	水辺で生息している生物の種類	種	96	114	115	117	107	107	112	108	105	105	115	115	117		
		⑪	まちの公園、街路樹などに満足している市民の割合	%	53.3	54.8	59.0	59.9	60.8	60.8	60.1	61.7	65	65	68.2	69.8	69.8	65	
F	公園・緑地・景観	⑫	地域内にポイ捨てが目立つと感じる市民の割合	%	48.7	48.7					54.1	56.3	51.9	51.9	51.5	49.6	40		
		⑬	環境に配慮してマイカーの利用を工夫している市民の割合	%		—	45.0	42.0	42.0	42.8	42.8	43.2	46.1	61	38.5	38.3	36.5	61	
I	リデュース・リユース	⑭	市民一人当たりのごみの排出量	g/人・日	656	621	593	566	557	557	552	546	550	539	526	519	525		
		⑮	再生品やエコマーク商品となるべく選ぶ市民の割合	%	40.0	40.5	44	40.7	39.2	39.2	38.7	37.3	60	60	36.2	34.8	31.1	60	
J	リサイクル・適正処分	⑯	「Ecoポイント」に協力する店舗数	店		0	19	21	17	17	100	91	88	88	86	86	200		
		⑰-1	市民一人当たりのごみの資源化量	g/人・日	179	190	152	140	136	136	131	125	200	200	—	—	—	220	
K	地球	⑰-2	民間を含む市民一人当たりのごみの資源化量	g/人・日	196	196					203	197	194	194	190	189	220		
		⑱	ごみのリサイクル率	%	21.4	25.3	23	22.6	22.4	22.4	22.2	21.8	30	30	21.2	20.9	20.4	30	
L	環境学習・人づくり	⑲	最終処分場の年間埋立量	m <sup>3</sup> /年	2,161	1,726	1,644	1,523	1,531	1,531	1,485	1,393	1,520	2,120	3,233	3,481	1,300		
		⑳-1	1世帯当たりの電気使用量	kW		5,398	4,948	5,282	4,983	4,983	4,907	4,834		4,541		—	—	4,858	
共通基盤	環境学習・人づくり	⑳-2	1世帯当たりのガス使用量	m <sup>3</sup>		365	362	371	376	376	375	358	356	356	348	347	329		
		㉑	環境に関する行事に参加している人の割合	%		—	26	27.0	26.6	26.6	30.0	23.7	23.3	26.5	26.5	25.7	23.9	35	

※網かけのある成果指標は、後期計画から新規、変更した指標

※網かけのあるH25目標、H28目標は、目標を達成した指標

※指標No.⑯は24年度から算出方法の変更

※現状値はH17数値 ただし、指標No.④、⑫、⑰-2は23年度数値

※⑰-1、⑰-2の指標は⑰-2に統合する

(2) 成果指標評価表

柱	1 社会環境
分野	A 大気・ばいじん
ビジョン	きれいな空気の中で暮らせるまち

成果指標1 降下ばいじんの量 (t/km<sup>2</sup>・月)

年度	市内平均	北部平均	南部平均
基準	4.4	3.3	5.4
H17	4.6	3.4	5.9
H18	4.8	3.5	6.2
H19	4.8	3.5	6.1
H20	4.7	3.0	5.0
H21	4.2	2.9	5.6
H22	3.8	2.7	4.9
H23	3.8	2.7	4.8
H24	3.9	2.8	4.9
H25	4.1	2.8	5.6
H26	3.8	2.8	4.9
H27	3.5	2.6	4.3
H28	3.9	2.9	5.0

**主な事業**

大気汚染常時監視  
降下ばいじん等調査  
公害防止協定による立入り調査  
及び防止対策の指導

**計画通りに成果が上がっているか**

目標達成  
 順調  
 順調でない

成果指標の分析

平成28年度の降下ばいじん量は市内平均3.9t(北部平均2.9t、南部平均5.0t)で前年度と比べ0.4tの増加となり、北部平均以外は28年度目標値を達成できませんでした。臨海部企業の降下ばいじん対策は進んでいるものの、気象条件などにより増加したものと考えられます。

成果指標2 大気汚染基準値の達成率(%)

年度	達成率
基準	73
H17	75
H18	80
H19	75
H20	80
H21	80
H22	80
H23	63
H24	80
H25	90
H26	80
H27	80
H28	90

**主な事業**

大気汚染常時監視

**計画通りに成果が上がっているか**

目標達成  
 順調  
 順調でない

成果指標の分析

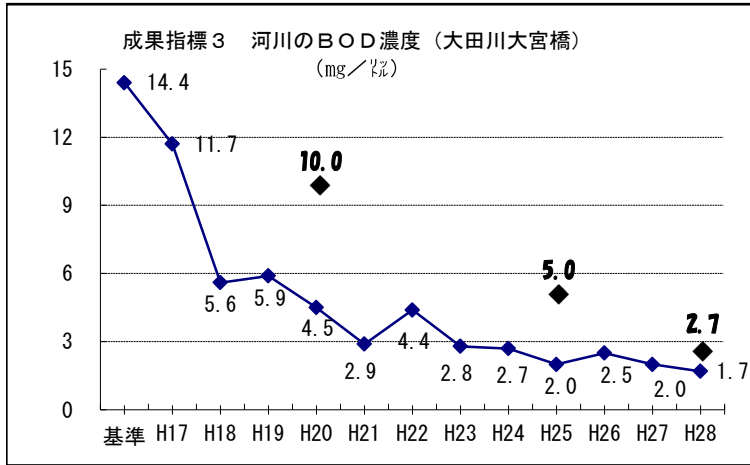
事業所への総量規制、自動車排ガス対策等により、平成28年度は二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質が環境基準を達成したものの、光化学オキシダントは全局で未達成であり、達成率は横ばいです。光化学オキシダントはメカニズムが複雑で、改善が進んでいないことが一因に挙げられます。

成果が向上する余地(可能性)は?  大  中  小

第1次東海市環境基本計画を振り返って

降下ばいじんに代表される大気汚染問題は、事業者による対策が進んでいるものの、対象箇所の多さや発生を防止するための技術に限界があること、また、気象条件に影響される部分も大きく、対策の効果が市民の実感に結びついていない状況です。そのため市と事業者が連携し、効果的な対策を提案し、公害対策の効果を市民がより実感できるようにするとともに、情報提供の仕組みを充実させることが必要です。

柱	1 社会環境
分野	B 水質
ビジョン	川や池を身近に感じて暮らせるまち



主な事業

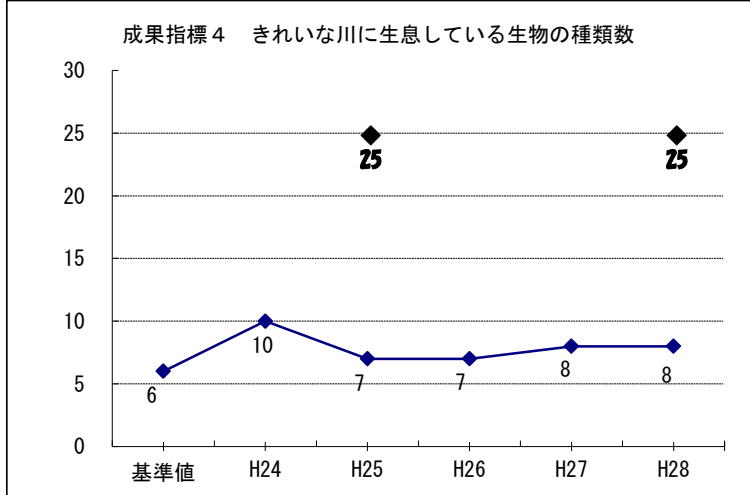
河川の水質調査(8箇所、年4回)  
河川・ため池水質浄化事業

計画通りに成果が上がっているか

- 目標達成
- 順調
- 順調でない

成果指標の分析

河川の水質調査は、季節や天候による影響はあるものの、20年度以降は全般的に数値が改善され、28年度の目標値についても達成しています。これは、下水道の整備・普及が進み、生活排水の流入が減少したことが大きな要因と考えられます。



主な事業

大田川等生物調査委託  
渡内川・中川クリーン作戦  
河川ため池水質浄化事業

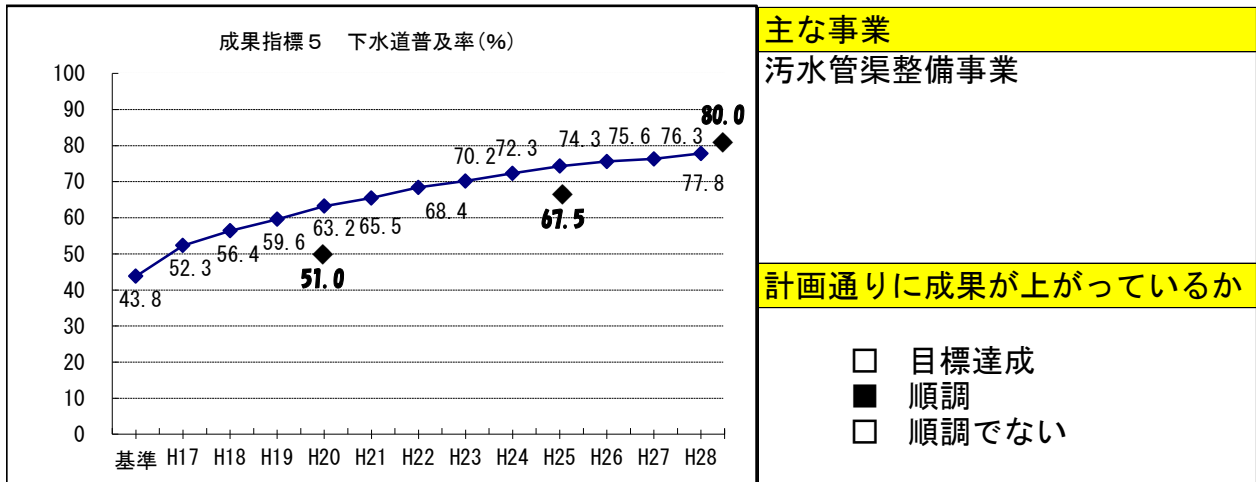
計画通りに成果が上がっているか

- 目標達成
- 順調
- 順調でない

成果指標の分析

確認された指標生物は、前年度と変わらず8種類と横ばいだが、目標値と比べると大きな差があります。  
河川の水質は改善傾向にあるものの、水質以外の要因も影響しているものと考えられます。

柱	1 社会環境
分野	B 水質
ビジョン	川や池を身近に感じて暮らせるまち



**成果指標の分析**

平成28年度の下水道普及率は前年度に比較し、1.5ポイント増加の77.8%となりました。これは、主に名和町で整備済面積が増加したことによるものと考えられます。しかし、28年度目標値である80%は達成できませんでした。

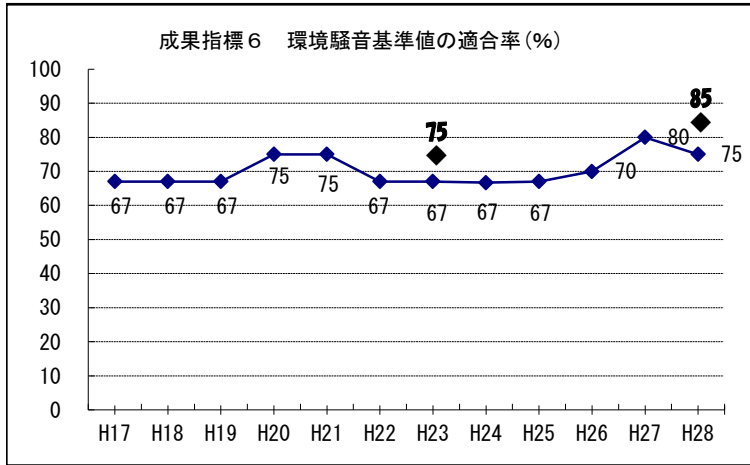
成果が向上する余地(可能性)は？  大  中  小

**第1次東海市環境基本計画を振り返って**

下水道の整備・普及により、河川のBOD濃度は改善が進み、環境基準を達成しています。一方で、ため池のうち生活排水が流入する池ではBOD濃度が高く、富栄養化が進んでいます。

下水道の整備は計画的に進んでいますが、早期の下水道への接続や、未整備区域における生活排水対策の実践など、水質浄化の啓発活動も必要となっています。

柱	1 社会環境
分野	C 騒音・振動
ビジョン	静かでおだやかに暮らせるまち



**主な事業**  
環境騒音測定

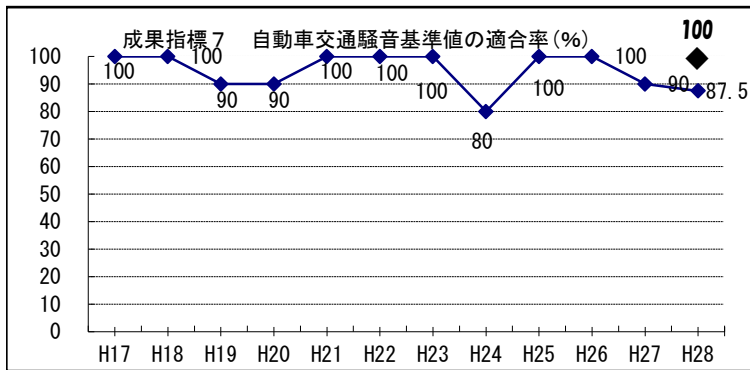
---

**計画通りに成果が上がっているか**

目標達成  
 順調  
 順調でない

**成果指標の分析**

測定調査は、名和町2地点、中央町、中ノ池、横須賀町、加木屋町の市内6地点で実施しています。28年度は、昼間の測定のすべての地点で環境基準を達成しました。夜間の測定では、緑陽敬老の家（名和町）、市役所（中央町）、上野公民館（名和町）の3地点が達成できませんでした。



**主な事業**  
自動車騒音測定  
自動車騒音常時監視業務

---

**計画通りに成果が上がっているか**

目標達成  
 順調  
 順調でない

**成果指標の分析**

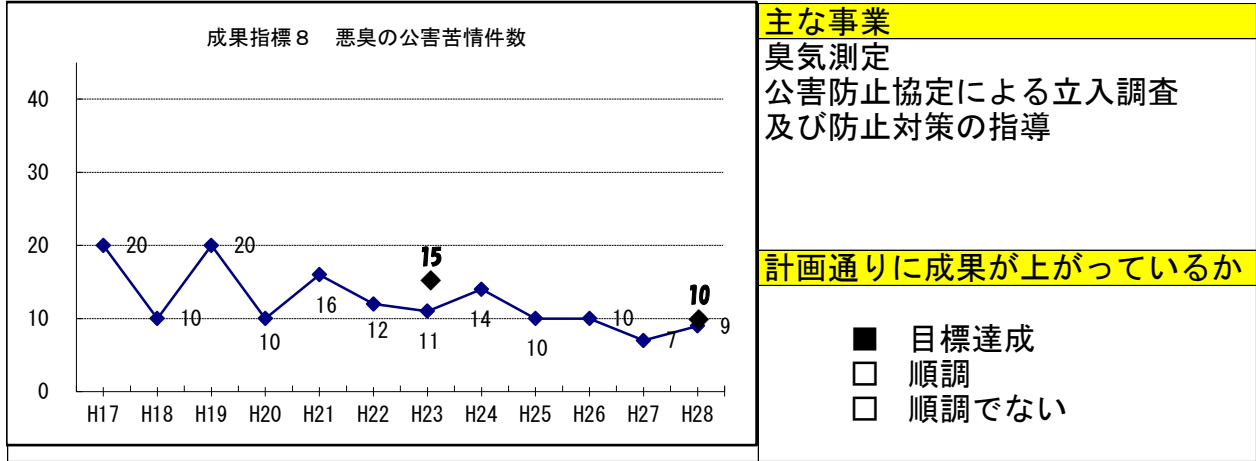
自動車騒音は、名和町、荒尾町、高横須賀町、加木屋町の市内4地点で昼間、夜間に調査を実施しています。（27年度までは5地点）  
28年度は、消防署北出張所（荒尾町）の昼間で要請限度を1dB(デシベル)超過しましたが、ほぼ横ばいになっています。交通量増加に伴い、騒音測定値が高くなっていると考えられます。

成果が向上する余地（可能性）は？  大  中  小

**第1次東海市環境基本計画を振り返って**

環境騒音については、交通量の増加により、一部の地域では夜間の環境騒音において環境基準の超過がみられます。  
また、日常生活に伴う近隣騒音も問題化しており、市民への啓発が求められます。

柱	1 社会環境
分野	D 悪臭等
ビジョン	健康で安心して暮らせるまち



**成果指標の分析**

28年度の悪臭の苦情件数は前年度から2件増え、9件となりましたが、28年度目標の10件を達成しました。  
これは企業が発生源対策を継続的に行っている結果によるものと考えられます。

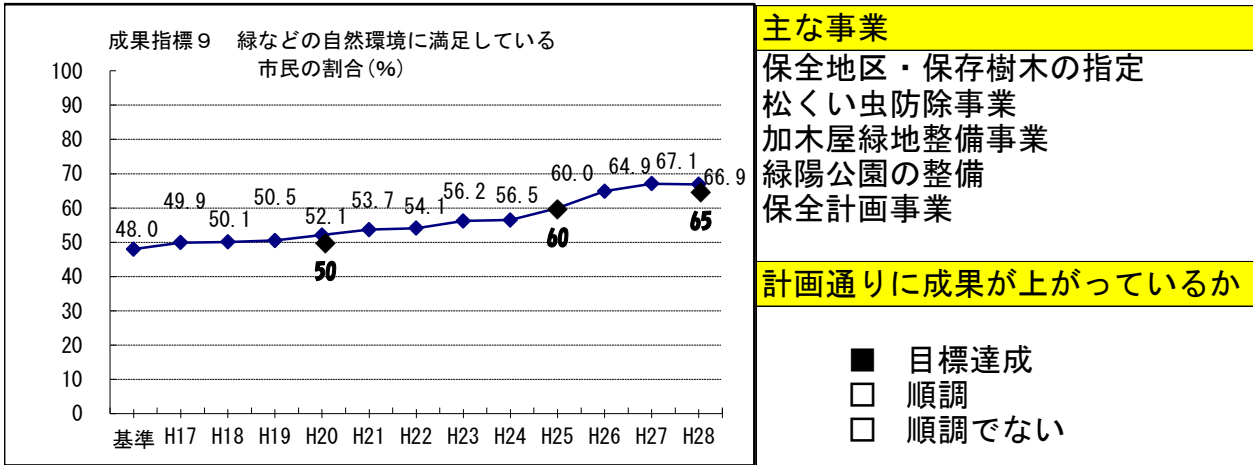
成果が向上する余地（可能性）は？  大  中  小

**第1次東海市環境基本計画を振り返って**

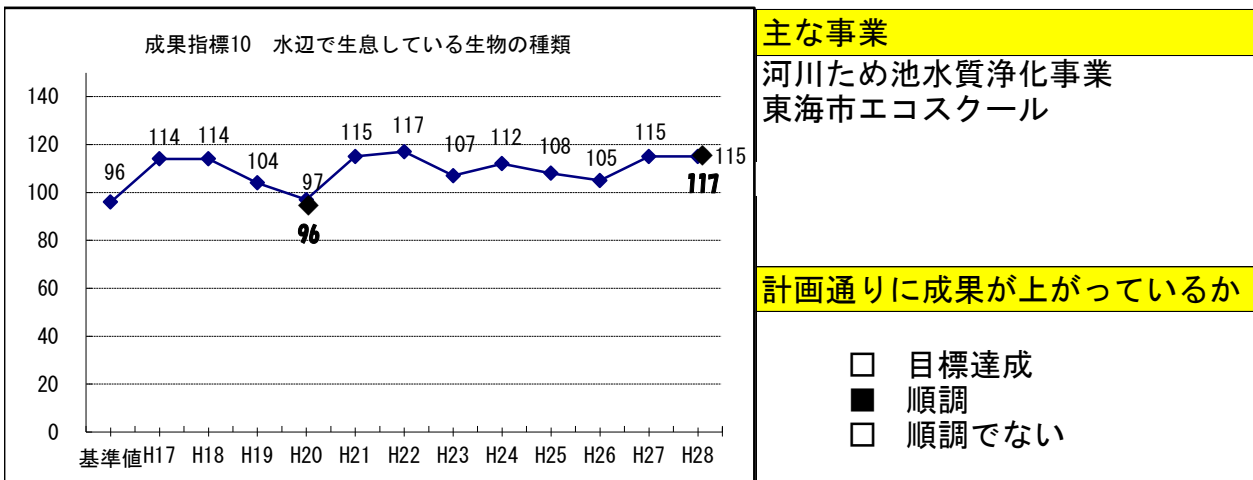
市内の事業者に対し、定期的に悪臭測定を実施しています。また、悪臭に対する苦情件数は長期的にみると新規受理件数は減少傾向にあります。苦情が継続化するケースも見られます。



柱	2 生活環境
分野	E 自然
ビジョン	次世代につなげる生命（いのち）ある自然環境の保全



**成果指標の分析**  
 平成28年度の緑などの自然環境に満足している市民の割合は、前年度よりも0.2ポイント減少したものの、基準値よりも18.9ポイント増加し、目標値を達成しました。  
 緑地整備の進展により、改善傾向にあると考えられます。



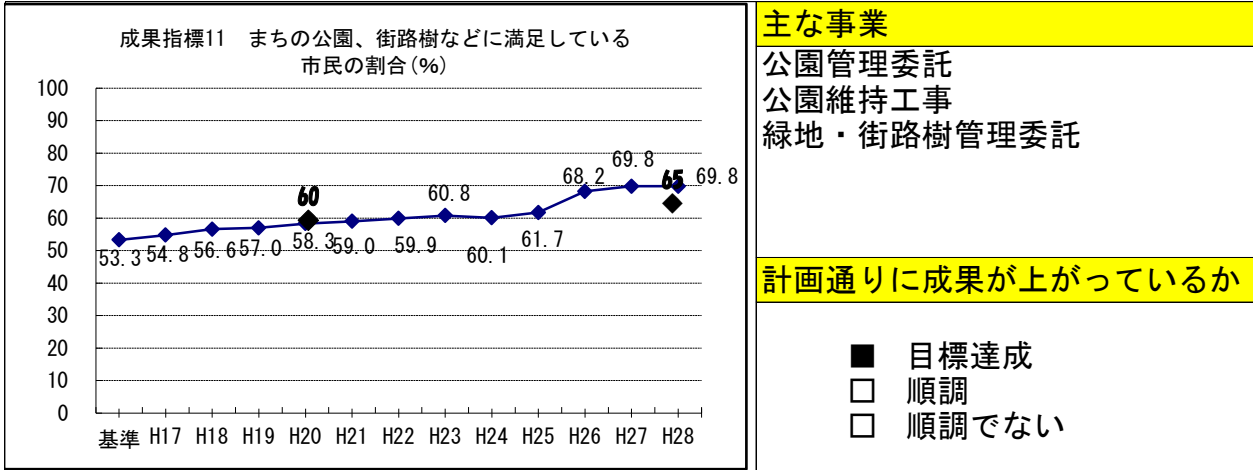
**成果指標の分析**  
 昨年度と比べ全体としては横ばいでした。これは調査の時期や天候等による影響が考えられます。

成果が向上する余地（可能性）は？  大  中  小

**第1次東海市環境基本計画を振り返って**  
 生物の種類に大きな変化はないものの、市内の水辺や緑地などには、貴重な水辺の生き物や野鳥などが生息しています。これらの生き物は宅地開発などにより生息空間が失われつつあります。  
 外来種による生態系への影響も顕在化しているため、生物多様性の保全が重要になっています。



柱	2 生活環境
分野	F 公園・緑地・景観
ビジョン	花と緑あふれる心安らぐまちづくり



**成果指標の分析**

平成28年度のまちの公園、街路樹などに満足している市民の割合については、横ばいで、基準値よりも16.5ポイントの増加と、順調に増加し目標値を達成しました。

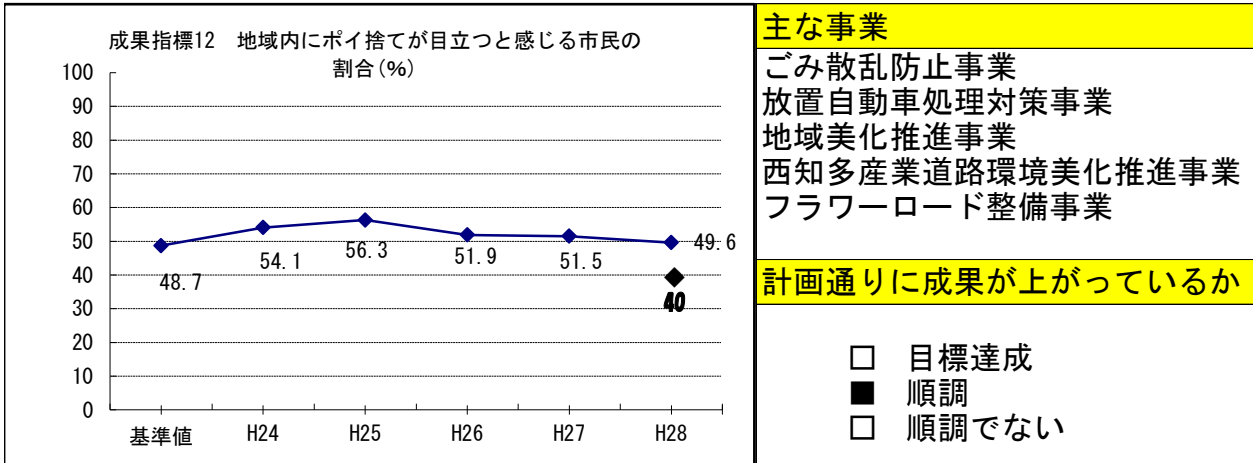
市内公園の管理や緑地の整備の推進が、市民の実感に結びついたものと考えられます。

成果が向上する余地（可能性）は？  大  中  小

**第1次東海市環境基本計画を振り返って**

本市には、大小69か所の個性豊かな公園があり、季節の花が咲き誇っています。引き続き、公園や緑地の整備を進めるとともに、宅地開発業者等に緑地の保全・確保に努めてもらう必要があります。

柱	2 生活環境
分野	G 環境美化
ビジョン	道路も公園も自分の庭 めざそうポイ捨てゼロのまち



**成果指標の分析**

平成28年度は、昨年度よりも1.9ポイント減少し、目標達成には至らなかったものの、不法投棄されたゴミの回収量は年々減っていることから、市民のゴミ問題に対する意識レベルは向上してきているものと考えられます。

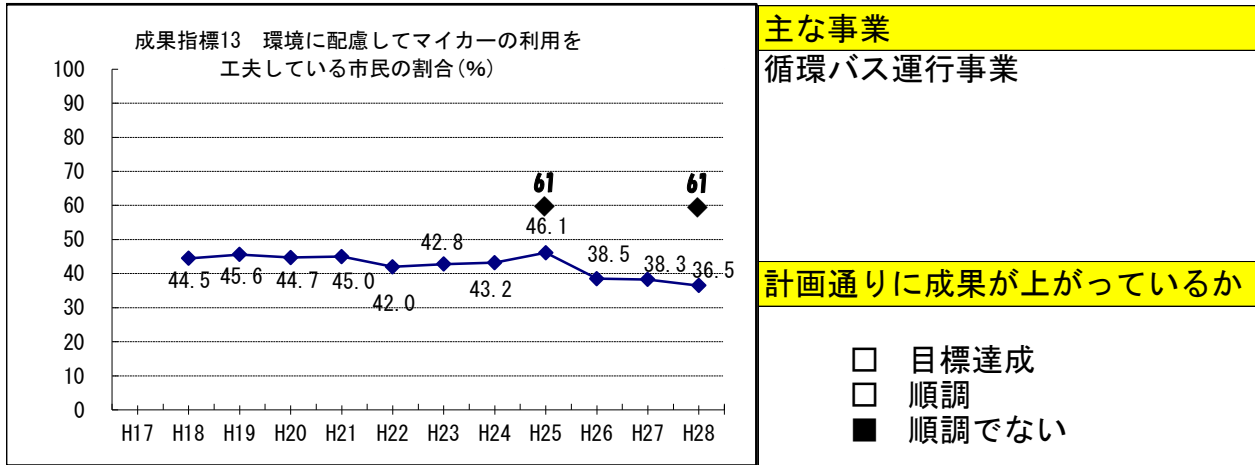
成果が向上する余地(可能性)は？  大  中  小

**第1次東海市環境基本計画を振り返って**

不法投棄されたごみの回収量や、地域内にポイ捨てが目立つと感じる市民は減少しており、環境美化への関心は高まりつつあります。

市民の環境美化に対するさらなる意識の向上のため、引き続き、啓発活動や地域美化活動を推進する必要があります。

柱	2 生活環境
分野	H 交通
ビジョン	環境に配慮した安心便利な交通システムの整備

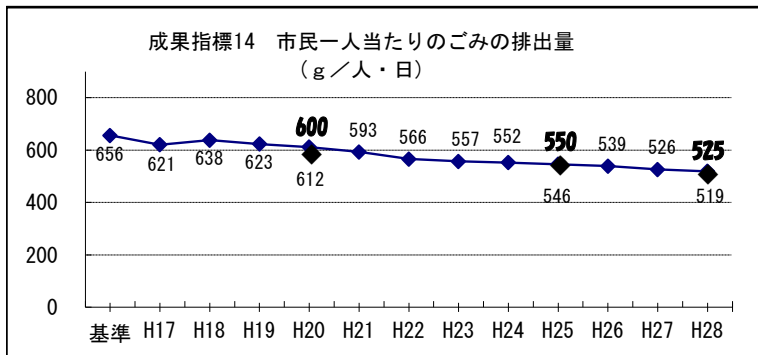


**成果指標の分析**  
 平成28年度は、昨年度と比較すると1.8ポイント減少しました。これは、市民への周知が十分に図られていないためと考えられます。

成果が向上する余地(可能性)は？  大  中  小

**第1次東海市環境基本計画を振り返って**  
 市民の安心便利な足として循環バス「らんらんバス」を運行しており、利用者は年々増加しています。  
 自動車の利用をなるべく控え、環境にやさしい交通手段である公共交通や徒歩・自転車への転換を促すための啓発を行う必要があります。

柱	3 廃棄物・リサイクル
分野	I リデュース・リユース
ビジョン	買う人・売る人・作る人 いつも心に“もったいない”

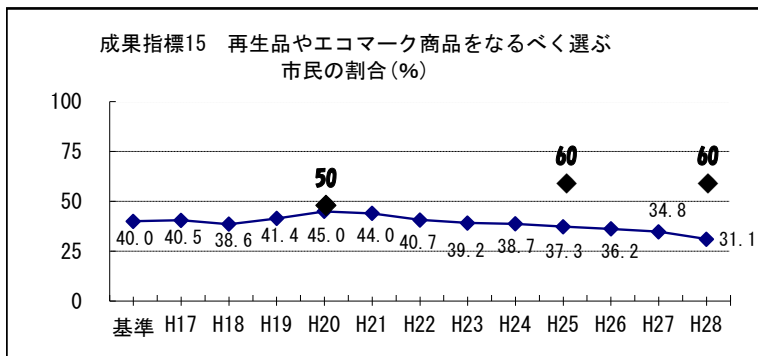


**主な事業**  
 ごみ指定袋制、レジ袋の有料化  
 集積場所での資源回収  
 EM処理剤の無料配布  
 広報等による啓発

**計画通りに成果が上がっているか**

目標達成  
 順調  
 順調でない

**成果指標の分析**  
 「市民一人当たりのごみ排出量」は19年度から徐々に減少し、28年度は、27年度より7g減の519gとなり、目標を達成しました。プラスチック製容器包装については、28年度から、ごみ集積場所に出せる回数が月3回から週1回に増え、資源として出しやすくなったことが、ごみ減量が進んだ要因の一つと考えられます。

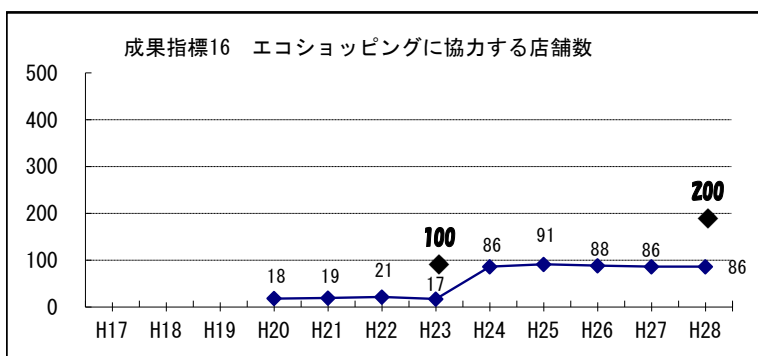


**主な事業**  
 リサイクルフェア  
 資源集団回収  
 分別収集事業  
 広報等による啓発

**計画通りに成果が上がっているか**

目標達成  
 順調  
 順調でない

**成果指標の分析**  
 「再生品やエコマーク商品をなるべく選ぶ人の割合」は、20年度をピークに徐々に下がり続け、23年度から基準値を下回っており、順調とはいえません。循環型社会の形成のため、市民が再生品やエコマーク商品を選ぶように促すための啓発が必要です。



**主な事業**  
 レジ袋有料化  
 広報等による啓発

**計画通りに成果が上がっているか**

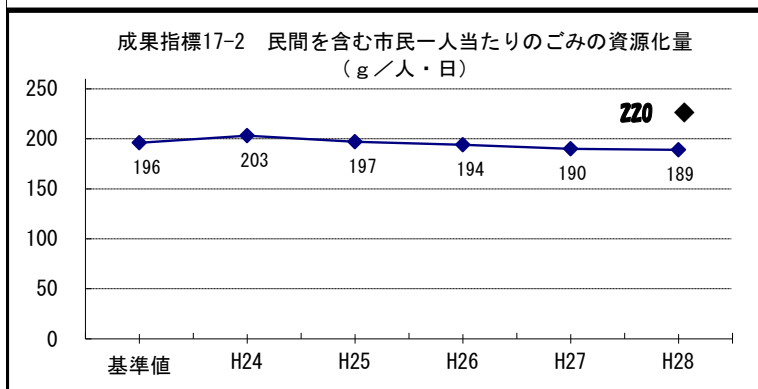
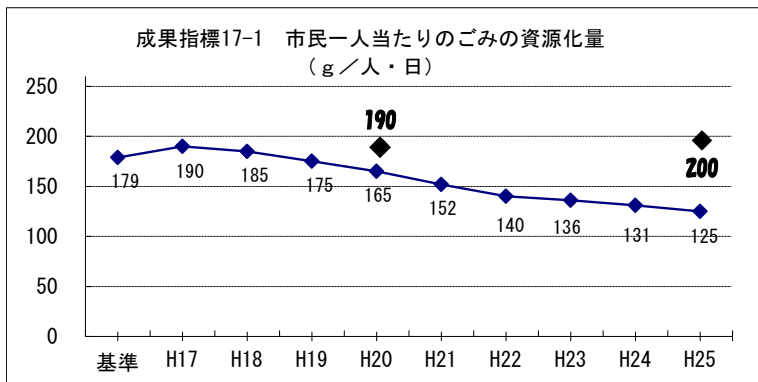
目標達成  
 順調  
 順調でない

**成果指標の分析**  
 「エコショッピングに協力する店舗数」が24年度に大幅に増加したのは、後期計画から定義付けを改め、数値の把握に努めたためです。しかし、店舗の新設や閉店を確実に把握することが困難なため、正確な数値の把握が課題です。27年度にスーパーマーケット2店舗がレジ袋有料化の協力から脱退しましたが、今後は、バラ売りなどの取り組みの協力を求めていく必要があります。

成果が向上する余地（可能性）は？  大  中  小

**第1次東海市環境基本計画を振り返って**  
 市民一人当たりの家庭系ごみ排出量は年々減少しています。これは、全国的なごみの減少傾向に加え、小型家電の資源回収開始、プラスチック製容器包装の回収日の増などによるものです。  
 今後、第2次東海市環境基本計画に基づき、次の取り組みが必要となります。  
 ①ごみ分別アプリの活用  
 ②3010運動を参考とした取り組みの実施  
 ③食べきり・使いきりの推進  
 ④水きりの推進

柱	3 廃棄物・リサイクル
分野	J リサイクル・適正処理
ビジョン	子どもの未来を考えて、自然にやさしい処理・処分



主な事業

リサイクル情報事業  
フリーマーケットの開催  
リサイクルフェア開催

計画通りに成果が上がっているか

- 目標達成
- 順調
- 順調でない

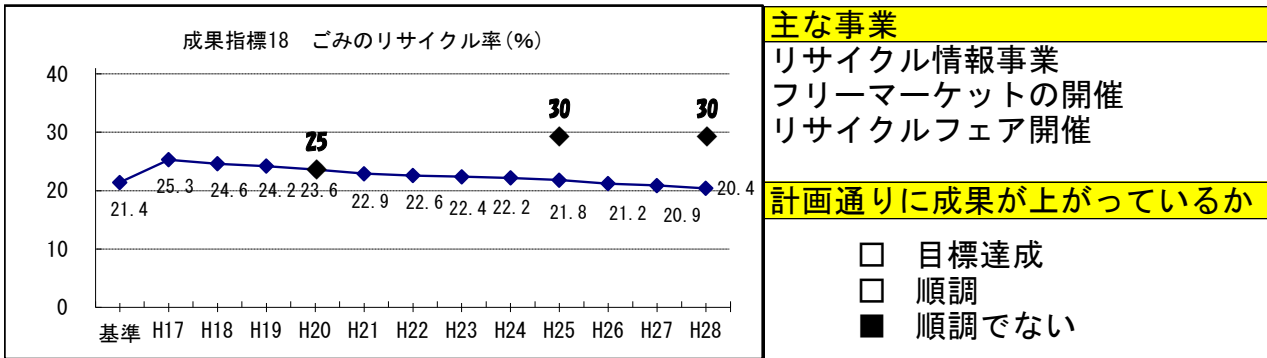
成果指標の分析

「民間を含む市民一人当たりのごみの資源化量」は、25年度から徐々に減となっています。これは容器包装自体の軽量化や新聞の購読数の減少等によるものと考えられます。

ごみの中には資源化できるものがまだ多く存在しており、特に紙類、プラスチック類、剪定枝及び刈草の資源化を推進する必要があります。

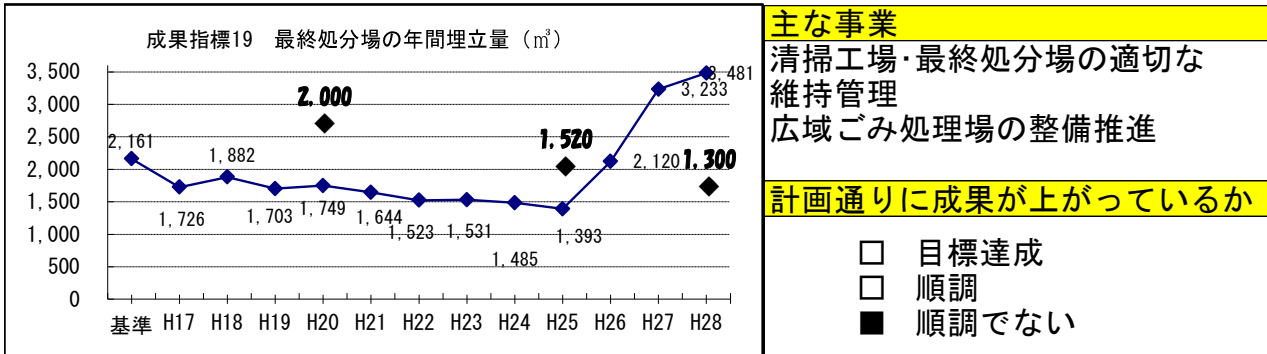
※ 平成26年度より成果指標17-2へ統合

柱	3 廃棄物・リサイクル
分野	J リサイクル・適正処理
ビジョン	子どもの未来を考えて、自然にやさしい処理・処分



**成果指標の分析**

ごみ搬入量・資源回収量ともに減となっており、リサイクル率も減となっています。資源量の減は容器包装自体の軽量化や新聞講読数の減少等によるものと考えられます。紙箱・包装紙等の雑紙に資源化の余地があります。



**成果指標の分析**

26年度は、灰溶融炉の故障等で、27年度からは、灰溶融炉の整備費を抑えるため1炉運転体制としたため、焼却灰の埋立量が増加しました。しかしながら、25年度以降、場外搬出での埋立てとセメント資材への資源化で処理をしているため、東海市の最終処分場への埋立て量は0です。

成果が向上する余地(可能性)は？  大  中  小

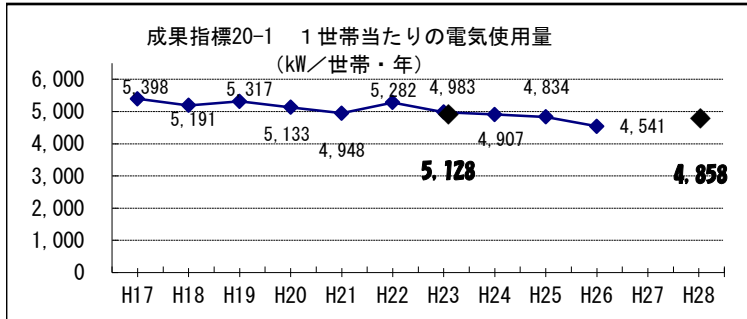
**第1次東海市環境基本計画を振り返って**

ごみと資源に関する環境の変化により、資源回収量は減少傾向にあります。第6次東海市総合計画のまちづくり指標31「ごみ減量、リサイクルを心がけている人の割合」は約90%と非常に高いことから、家庭での資源化は定着していると考えられます。

そのような中、市は平成28年4月からプラスチック製容器包装の回収日を増やし、平成23年3月から小型家電及び硬質プラスチック等の回収を開始したことで、これらの品目の資源化量は順調に増加しています。

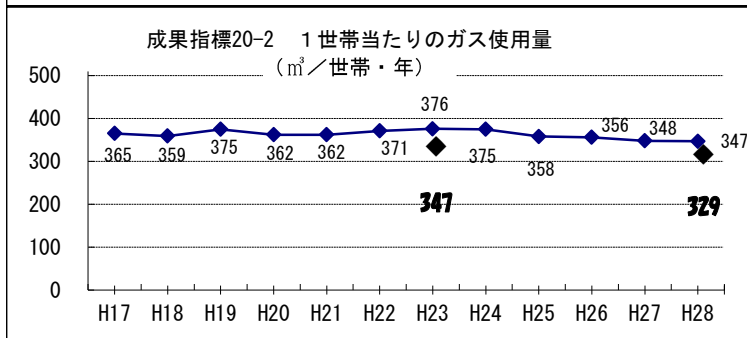
今後、第2次東海市環境基本計画に基づき、事業系一般廃棄物の適正処分と資源化の推進が必要となります。

柱	4 共通基盤
分野	K 地球
ビジョン	自分達の手でライフスタイルを見直し、 きれいな地球を守る



主な事業

太陽光発電システム設置補助  
燃料電池システム設置補助



計画通りに成果が上がっているか

- 目標達成
- 順調
- 順調でない

成果指標の分析

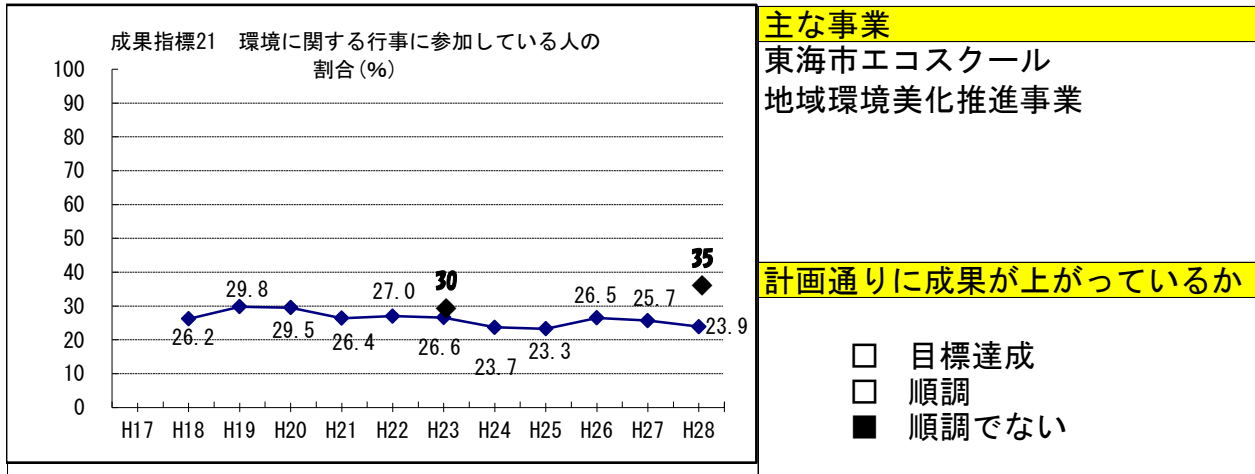
①電力の自由化に伴い、中部電力よりの数値取得が不可となりました。  
②ガスの市内契約数は、ここ数年増加傾向にあり、それに伴い家庭用のガス供給量も増加しています。1世帯当りの使用量に関してはここ数年減少傾向にあるものの、目標を達成できておらず、これは、市民への啓発が足りなかったためと考えられます。

成果が向上する余地（可能性）は？  大  中  小

第1次東海市環境基本計画を振り返って

地球温暖化対策の一環として、住宅用太陽光発電システムの設置費の一部補助を行い、クリーンエネルギーの利用を推進してきました。さらに地球温暖化・気候変動の現状や対策などについて、普及啓発を行う必要があります。

柱	4 共通基盤
分野	L 環境学習・人づくり
ビジョン	学・思・行 相まって、未来につなげる人づくり



**成果指標の分析**

平成28年度は昨年度と比較すると、1.7ポイント減少し、目標を達成できませんでした。  
これは、市内一斉清掃日が雨天のため、清掃活動を中止したコミュニティが多かったことが影響していると考えられます。

成果が向上する余地(可能性)は？  大  中  小

**第1次東海市環境基本計画を振り返って**

環境負荷の少ないライフスタイルの理解を深めるために、環境学習の一環として、市民、事業者、地域・団体、行政の協働により、環境に関するさまざまな講座を行う「エコスクール」を開催してきましたが、定員に限りがあり、参加者が限られている状況です。  
市内で環境保全活動や環境学習を担う団体や人材の育成を行っていく必要があります。



### 3 参考資料

#### (1) 平成28年度環境基本計画推進委員会委員名簿

役 職	所属部会	氏 名	区 分
委員長	社会※1	早川 宏司	事業者を代表する者
副委員長(職務代理) 社会環境部会長	社会	山本 隆明	事業者を代表する者
副委員長 生活環境部会長	生活※2	倉橋 和宏	事業者を代表する者
副委員長 廃・リ※3	廃・リ	深谷 保	事業者を代表する者
社会環境部会 職務代理	社会	寺島 賀子	市内に住所を有する者
委 員	社会	秋山 和子	NPOを代表する者
〃	社会	平松 浩子	市内に住所を有する者
生活環境部会 職務代理	生活	南川 陸夫	NPOを代表する者
〃	生活	(平松 俊彦)	NPOを代表する者
委 員	生活	追分 僚子	市内に住所を有する者
〃	生活	吉鶴 弥生	市内に住所を有する者
〃	生活	斉藤 博	NPOを代表する者
廃・リ部会 職務代理	廃・リ	小島 知恵子	NPOを代表する者
委 員	廃・リ	森岡 良枝	NPOを代表する者
〃	廃・リ	毛利 まり子	市内に住所を有する者
〃	廃・リ	河合 勲	事業者を代表する者
アドバイザー	—	千頭 聡	学識経験者(日本福祉大学教授)

※1 社会は社会環境の略

※2 生活は生活環境の略

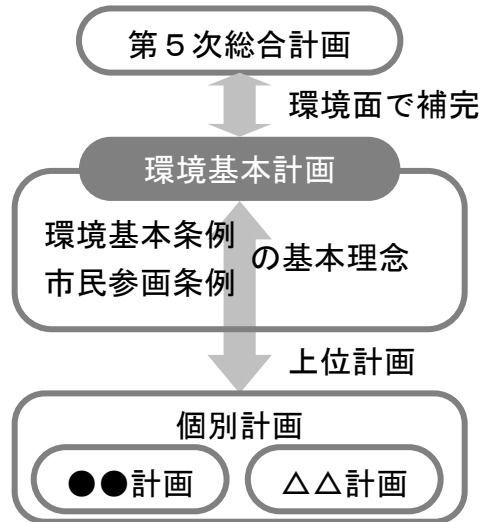
※3 廃・リは廃棄物・リサイクルの略

## (2) 東海市環境基本計画について

### 1 計画の位置付け

東海市環境基本計画は、  
第5次総合計画を環境面で補完し、  
個別計画の環境面での上位計画と  
なるものです。

また、環境基本条例の基本理念を  
実現するための指針であり、同時に  
市民参画条例で定める市民参画の  
基本理念を実現するものでもあります。



### 2 計画の概要

#### 計画期間

平成19年度



平成28年度  
(10年間)

#### 将来人口

平成18年度  
104,793人



平成28年度  
110,000人

#### 対象とする範囲

##### 地理の 範囲

活動範囲は市内、  
影響は広く  
地球環境まで視野に

##### 推進主体 の範囲

市民、事業者、  
NPO、行政  
とします

##### 環境の 範囲

#### 4つの柱

社会環境  
生活環境  
廃棄物・リサイクル  
共通基盤

#### 12の環境分野

大気・ばいじん／水質／騒音・振動／悪臭等  
自然／公園・緑地・景観／環境美化／交通  
リデュース・リユース／リサイクル・適正処分  
地球／環境学習・人づくり

### 3 めざす環境ビジョン

環境  
ビジョン

未来につなぐ 美しいふるさと東海

柱ごとの  
ビジョン

社会環境 快適な環境で心豊かに暮らせるまちづくり

生活環境 自然を愛し環境を考え行動する  
市民のふるさとづくり

廃棄物・  
リサイクル もったいないから始まる未来  
3Rのまちづくり

共通基盤 地球を考え地域から行動するまちづくり

### 4 協働・共創による計画策定

環境基本計画の策定に当たっては、市民の視点に立った協働・共創による計画作りのため、市民、事業者、NPOの代表からなる環境市民会議を設置しました。

環境基本計画の主要部分である環境ビジョン、柱・分野毎のビジョン、各分野の成果指標と目標値、推進体制などは、環境市民会議が市の意見を取り入れつつ設定したもので、協働・共創の理念を具体化した計画となっています。

### 5 協働・共創による計画の推進

環境基本計画を推進するため、市民、事業者、NPOの代表からなる環境基本計画推進委員会と、市の関係各課職員からなる環境基本計画庁内会議を設置しました。

推進委員会と庁内会議は、お互い意見や提案を交換しつつ、環境基本計画のビジョン実現のための具体的な事業について検討しています。

また、各分野ごとに設定している目標値の分析と成果向上のための方針なども推進委員会と庁内会議が意見を交換しつつ作成しており、計画の推進と進管理も市民、事業者、NPOと市の協働・共創により進めています。

---

平成28年度 東海市環境基本計画年次報告書

---

●編集

東海市 環境経済部 生活環境課  
清掃センター  
東海市環境基本計画推進委員会

---

●お問い合わせ先

東海市 環境経済部 生活環境課  
〒476-8601 愛知県東海市中央町一丁目1番地  
TEL 052-603-2211/0562-33-1111  
FAX 052-603-6910  
URL <http://www.city.tokai.aichi.jp>  
E-mail [kankyous@city.tokai.lg.jp](mailto:kankyous@city.tokai.lg.jp)

---